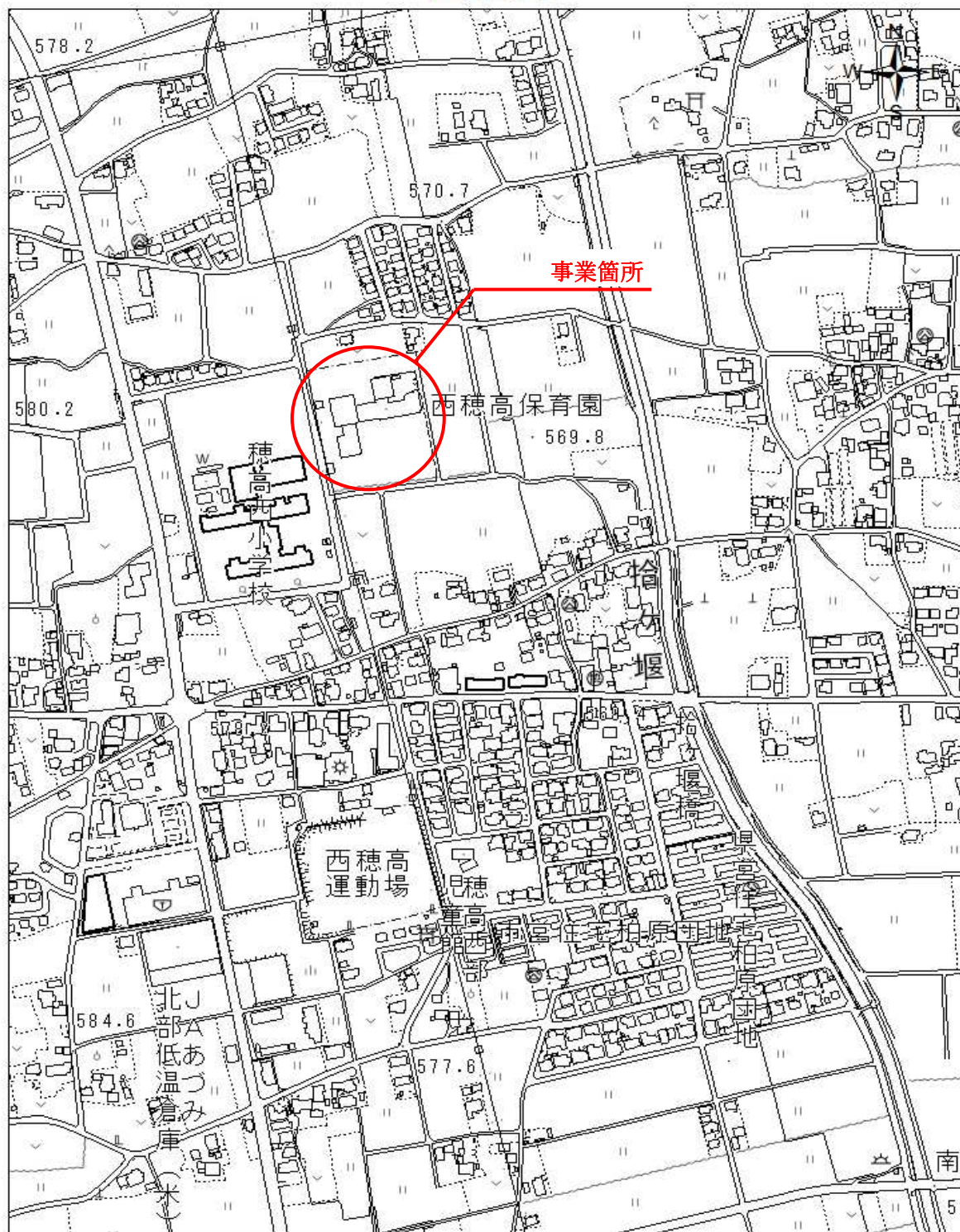


工事名					令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事										
工事場所					安曇野市 西穂高認定こども園										
工事概要										施 工 方 法	請 負				
長時間保育室(57.84㎡)の空調機更新工事 ・更新エアコン設置工事(10.0KW/11.2KW 1台) ・既設エアコン撤去工事(2.8KW/3.6KW 1台) ・上記に伴う電気工事及び建築工事(室外機フェンス設置H1500)										施 工 期 間	契約日から 令和4年8月31日				
										担 当 課	こども園幼稚園課 保育幼稚園係				
										工事担当課	財産管理課 施設経営担当				

金抜設計書

令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

位置図



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事						
A	機械設備工事		1	式			
B	電気設備工事		1	式			
C	建築工事		1	式			
	直接工事費						
D	共通仮設費		1	式			
	純工事費		1	式			
E	現場管理費		1	式			
	工事費原価		1	式			
F	一般管理費		1	式			
	工事費合計						
	消費税						
	合計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
A	機械設備工事						
1	直接仮設・建築工事		1	式			
2	更新エアコン設置工事		1	式			
3	既設エアコン撤去工事		1	式			
4	産業廃棄物処理工事		1	式			
	※空調機器更新(機器・配管・渡り配線・リモコン線)						
	※既設エアコン撤去(機器・配管・電源・渡り配線)						
	機械設備工事 計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	直接仮設・建築工事						
	養生費	仕上げ	6.0	m2			
	内部足場 枠組本足場	建地幅600 高さ10m以下 手摺	6.5	架m2			
	全上安全手摺共						
	内部脚立足場	並列	0.7	m2			
	清掃・片付	仕上げ	6.0	m2			
	屋外機用RC基礎	寸法	1.0	式			
	花壇樹木移設		1.0	個所			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	更新エアコン設置工事						
	パッケージエアコン	標準シングル 112形	1	台			
	冷暖房能力	10.0KW/11.2KW					
	室内ユニット	壁掛タイプ					
		ワイヤードリモコン					
	防振架台	112形用	1	台			
	全上機器搬入据付工事	機器搬入据付	1	式			
		防振架台設置共					
	後施工アンカー工事	12φ 下向	4	個所			
	気密試験・冷媒液充填	真空引き共	1	式			
	試験・調整		1	式			
	外壁開口	100φ 100-150L	1	個所			
	天井開口	100φ 100-150L	1	個所			
	内壁開口	100φ 100-150L	1	個所			
	冷媒配管 屋外架空	9.52φ/15.88φ 被覆厚20mm	1.0	m			
	冷媒配管 屋内一般	9.52φ/15.88φ 被覆厚20mm	6.0	m			
	ドレン配管 屋外架空	25φ 防露被覆付	1.0	m			
	ドレン配管 屋内一般	25φ 防露被覆付	6.0	m			
	ステンスラッキング 材工	屋外	1	式			
	専用化粧カバー	屋内	1	式			
	全上取付費		1	式			
	電源線 隠蔽	VVF-2.0° -3C	4.0	m			
	電源線 ダクト内(管内)	VVF-2.0° -3C	3.0	m			
	アース線 隠蔽	IV-1.6°	4.0	m			

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	アース線 ダケ内(管内)	IV-1.6°	3.0	m			
	内外信号線 隠蔽	CVV1.25° -2C	4.0	m			
	内外信号線 ダケ内(管内)	CVV1.25° -2C	3.0	m			
	リモコン配線 隠蔽	CVV1.25° -2C	1.0	m			
	リモコン配線 管内	CVV1.25° -2C	2.0	m			
	金属線ぴ工事	40x30	2.0	m			
	壁内アウトレットボックス	ワイヤードリモコン取付用	1	個			
	既成エアコン屋外機防護パネル	外形寸法1600Hx1200Wx655D	1	台			
	全上取付後施工アンカー		4	個所			
	設置工事		1	式			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	既設エアコン撤去工事						
	ルームエアコン		1.0	組			
	冷/暖防能力	2.8KW/3.6KW					
	室内ユニット	壁掛形					
	全上撤去工事						
	フロンガス回収	冷房能力 2.8KW	1.0	式			
	既設配管・配線撤去工事	6.35φ/9.52φ・16V	1.0	式			
	撤去跡補修工事	開口塞ぎ・壁面補修	1.0	式			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	産業廃棄物処理工事						
	収集・積込	機器(混合物)機械・電気	0.1	t			
		冷媒管・電線(金属くず)他					
	運搬費	機器(混合物)機械・電気	0.1	t			
		冷媒管・電線(金属くず)他					
	処分費	機器(混合物)機械・電気	0.1	t			
		冷媒管・電線(金属くず)他					
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
B	電機設備工事						
	ケーブル	EM-CE 5.5mm2 -4C	86	m			
	ケーブル支持材、接続材		1	式			
	防火区画貫通う処理剤		3.0	ヶ所			
	電線管	Z-GP 28mm DWZ228K	3.6	m			
	金属可とう電線管 (WP)	二種 被覆PVC30mm	1.0	m			
	ボックスコネクター WP	WBG-30mm	2	個			
	配管付属材品及び支持材		1	式			
	漏電ブレーカー (プラグインスリム)	GX53PS 3P40A	1.0	台			
	雑材料・消耗品		1.0	式			
	施工費		1.0	式			
	小計						

No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
C	建築工事						
	下り壁補強	軽量鉄骨壁開口補強同様	1.0	箇所			
	メッシュフェンス	H=1500	4.5	m			
	小計						

現 場 説 明 書

安曇野市総務部 財産管理課 施設経営担当

1 工事名称 令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

2 工事場所 安曇野市 西穂高認定こども園

3 工事概要

- ・更新エアコン設置工事（10.0KW/11.2KW 1台）
- ・既設エアコン撤去工事（2.8KW/3.6KW 1台）
- ・上記に伴う電気工事及び建築工事（室外機フェンス設置 H1500）

4 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

5 本工事における特記事項

(1) 施設を運営しながらの施工となる為来園者等に支障が無いよう安全管理に努めること。

(2) 施工に係る支障事項は、事前に施設管理者へ報告を行い、作業内容等十分な配慮を行うこと。

(3) 工程は、施設管理者と協議を行い、なるべく影響が少なくなるよう調整すること。
施設管理者との協議により、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、工事監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

(5) 工事現場アクセスについて

中大型車両は安曇広域農道より市道穂高 4560 号線を経由し出入りする事。また、小型車両以下についてもできる限り中大型車両同様に出入りすること。

(6) 誘導員について

大型車両進入時等は現場出入口に誘導員を配置すること。

- (7) 新型コロナウイルス感染症について、協議の上対策を十分講じること。
- (8) 現場完成後は部分使用における検査を受け、引渡しをすること。
引き渡し検査日については協議上決定する。

6 その他

(1) 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、耐火建築物にあっては基礎工事完了時から完成期日後 14 日まで、木造等非耐火建築物にあっては請負契約後から完成期日後 14 日まで、設備工事にあっては機械類搬入時から完成期日後 14 日までとする。

(2) 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

[illegible]

[illegible]

内装改修工事

7. 防腐・防蟻処理

行う箇所（ ）
防腐処理 ※行う（※図示 ）
防蟻処理 ※行う（※図示 ）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存（防腐、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。
クロルピリホスを含むものを添加しないこと。

8. 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 （表6.5.11）

	※無し		
下張り用床板	・有り	※合板張り ・板張り	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種
床 板	※単層フローリング （襖仕19.5.2による） ・縁甲板		ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 ※ひのき ・

9. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 （6.6.2）(表6.6.1)
屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型）
既存の理込インサート ・使用する ・使用しない （6.6.3）(6.6.4)
あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない （6.6.4）
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う
耐震性を考慮した補強 ※図示
屋外軒天井及びピロティ-天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示

10. 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ （6.7.3）(表6.7.1)

11. ビニル床シート張り

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） （6.8.3）

12. ビニル床タイル張り

種 類	JISの記号	厚さ(mm)	備 考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	C T	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	C T S		
・ホモジニアスビニル床タイル	H T	・	

13. 帯電防止床タイル張り

種 類	厚さ(mm)	性 能
・コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10 ⁹ Ω以下、または、漏えい抵抗値(JIS A1454による)1.0×10 ⁹ Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5 ・	
・	・	

14. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9281による
色彩は黄色を原則とする （6.8.2）
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）

15. ビニル幅木

高さ（mm） ・60 ・75 ・100 （6.8.2）

16. 合成樹脂塗床

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外 ・第三種

17. フローリング張り

種 別	材 種	工 法	仕 上 げ 塗 装 等	備 考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき	・	・無塗装品	
・	・	・	・	
・	・	・	・	

ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種

18. 畳敷き

下 地 の 種 類	畳 の 種 別
改修標仕表6.5.9による床組	・A種 ※B種 ・C種 ・D種（ ）
ポリステレンフォーム床下地（ノンフロンの）	※C種 ・D種（ ）

畳表及び畳床は揮発発生有機化合物含有量が少ないものとする

19. ｶﾞﾗｽﾌﾛｰﾑ床下地材

ノンフロンのもの
畳下地 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 （不燃）
ｱﾝﾄﾞﾘﾝｸﾞ 厚さ(mm) ※80 ・95 （不燃）

20. カーペット敷き

・織じゅうたん （6.9.2）(6.9.3）(表6.9.1）

種 別	バイル形状	色 柄	備 考
・A種	・カットバイル	※単一色（無地）	
・B種	・ループバイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループバイル併用	・	

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーベット （6.9.2）(6.9.3）(表6.9.2）

バイル形状	バイル長（mm）	工 法	備 考
・カットバイル	※5～7 ・	※全面接着工法	
・ループバイル	※4～6 ・	・グリッター工法	
・カット、ループ併用			

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーベット （6.9.2）(6.9.3）(表6.9.2）

バイル形状	種 類	種 類	総厚さ(mm)	備 考
※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットバイル				
・カット、ループ併用				

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下（ﾌﾟﾘｰﾌｨｯｼｬﾞﾄﾞ敷設範囲）

21. セっこうボードその他ボード張り

種 類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板	NF	・15 ・20 ・25 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石棉） ・6 ・8
・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9（不燃） ・12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12（不燃） ・15 ・19 ・ ）
・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9（不燃） ・12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12（不燃） ・15 ・19 ・ ）
・せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃） ・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード	GB-D	9.5（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃） 幅440程度 模様（※経目 ・板目）専用下地材付き ・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K6903による 厚さ1.2
・ﾃﾞｲｱﾙﾃﾞｿﾞﾆﾂｱｲﾊﾞﾝﾞｰﾎｰﾄﾞ	MDF	・3 ・7 ・9 ・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18
・ハードボード（素地）	HB	・素地 ・RH-HB ・RS-HB ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード	IB	・T-IB ・A-IB ・S-IB ・9 ・12 ・15 ・18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外 ・第三種

22. 吸音材

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [19.7.2]〔表9.6.1〕
※適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

23. 壁紙張り

種 類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25 ・
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25 ・

24. モルタル塗り材料

吸水調整材 （6.15.3）

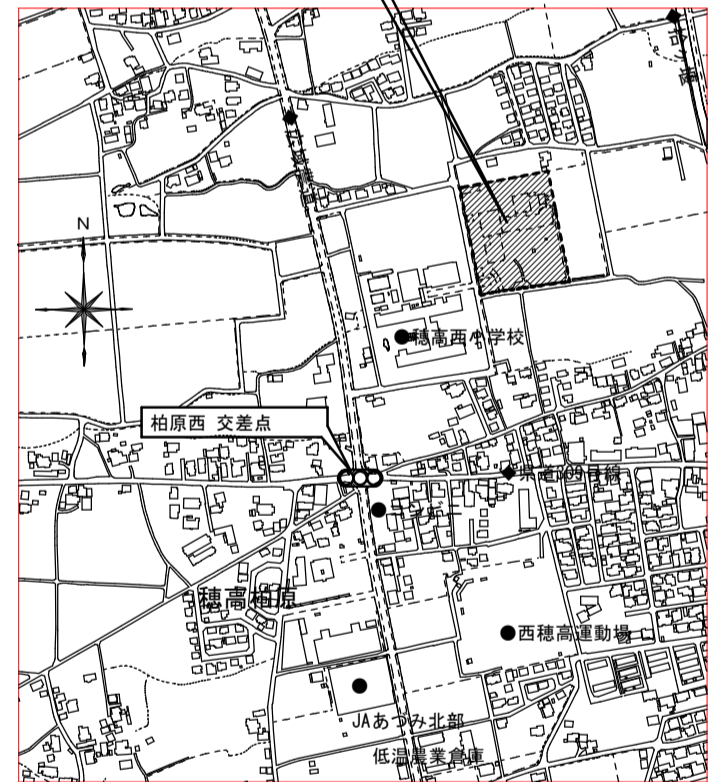
全固分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破壊率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

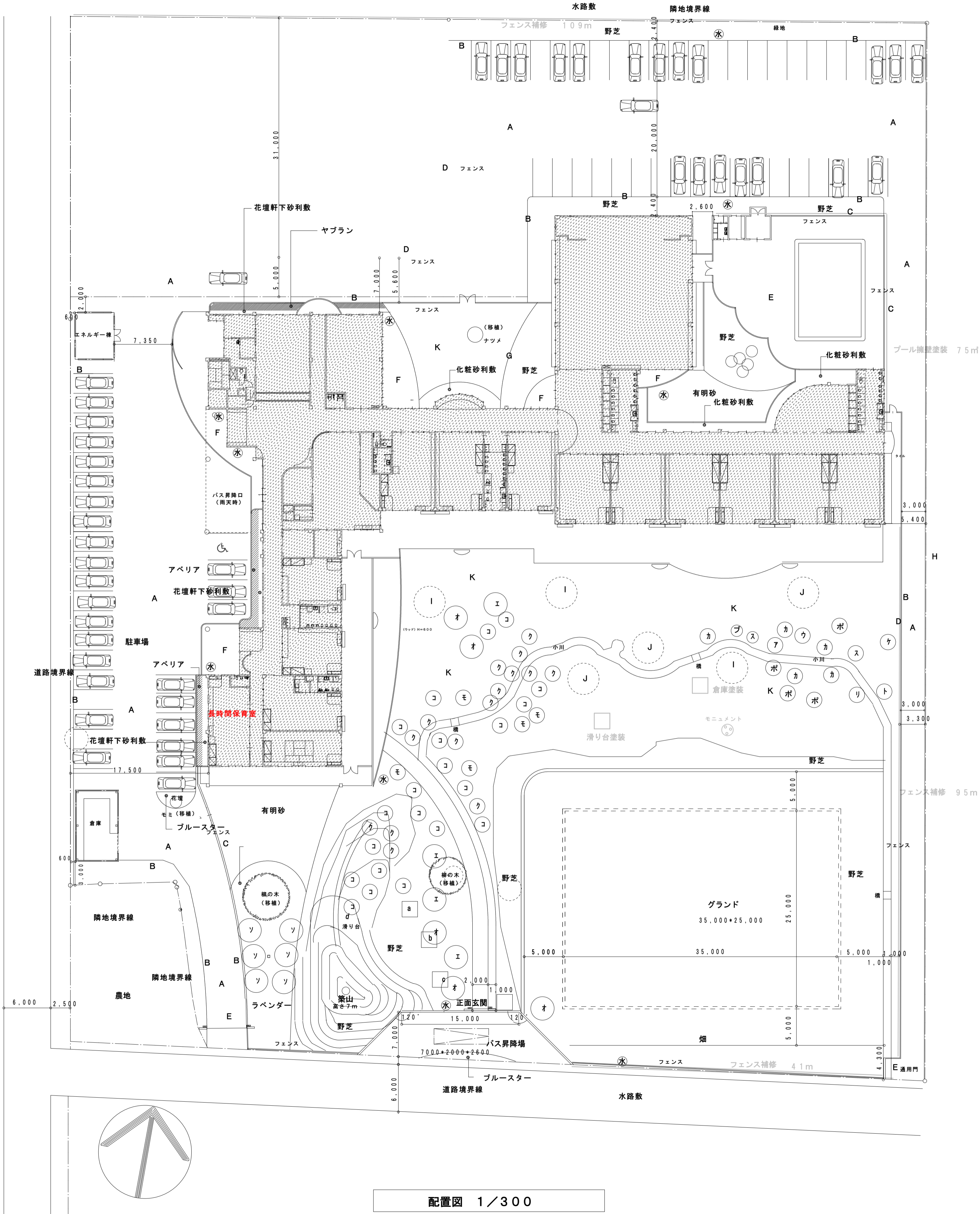
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294

西穂高認定こども園
〒399-8304
安曇野市穂高柏原5217



案内図



配置図 1/300



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日: DATA

設計

検図

承認印

工事名称: PR NAME

フェンス補修 245m

図面名称: DW NAME

配置図

図面番号: DW NO. 確認

製図

担当

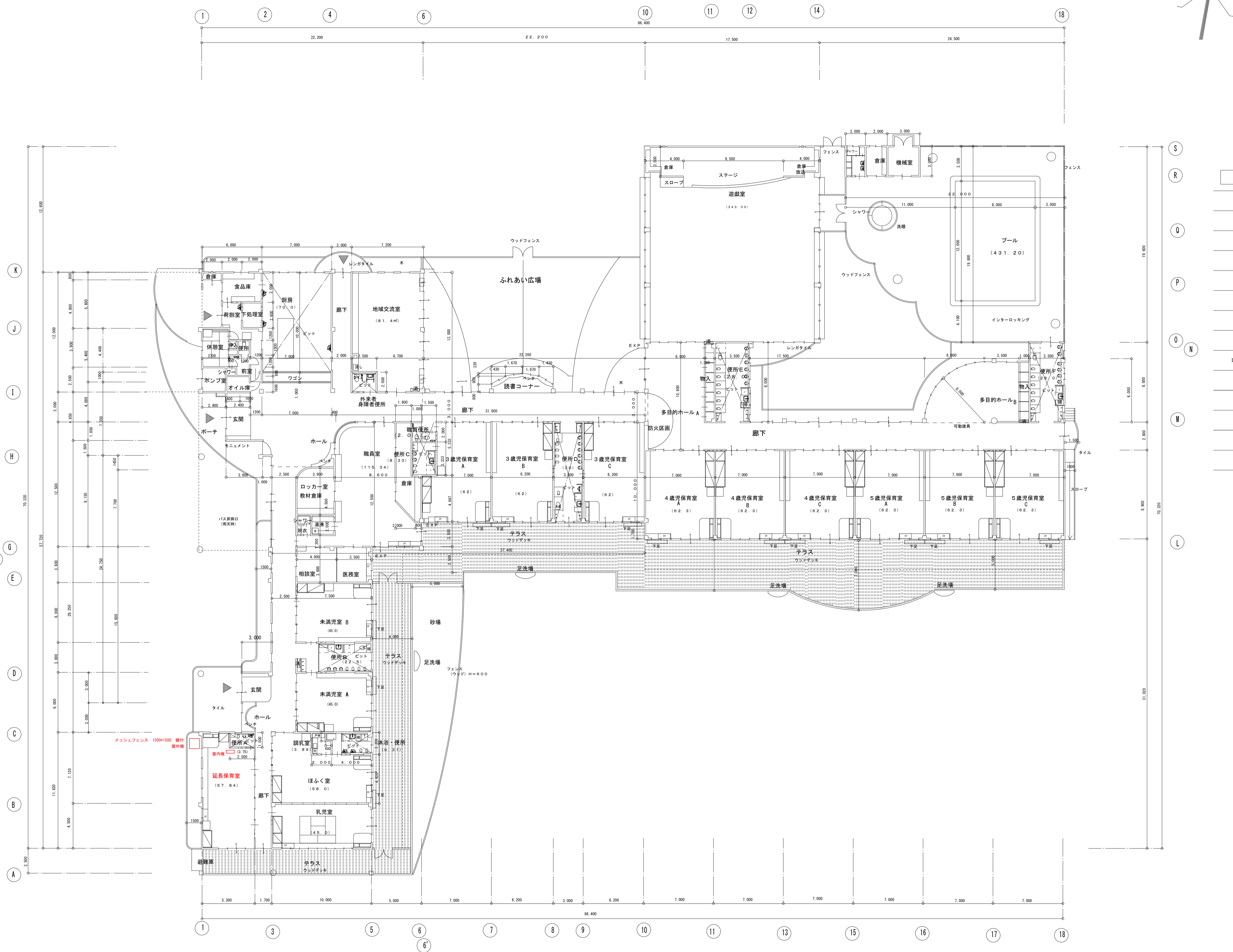
承認年月日

令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

縮尺: SCALE

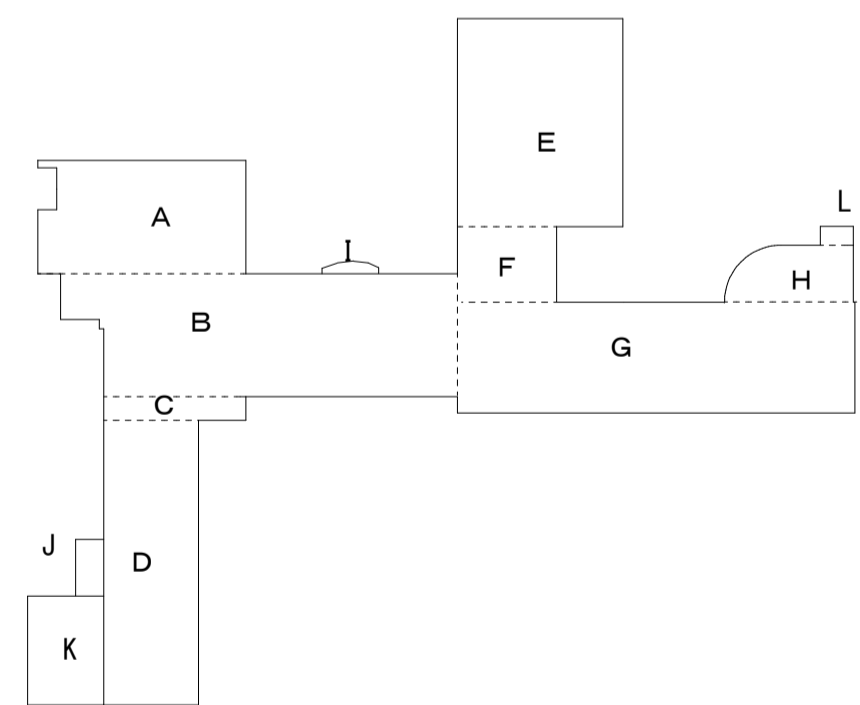
1:300 (A-1) 1:600 (A-3)

A-5



保育園

A:22.20+12.00-2.0+4.8=256.80	
B:13.00+37.40+6.35+1.0+4.85+3.6=510.01	
C:15.00+2.50=37.50	
D:10.00+30.22=302.20	
E:17.50+19.60=343.00	
F:10.50+8.00=84.00	
G:42.00+11.70=491.40	
H:6.00+3.50+4.50+6.0+6.0+3.14+0.25=76.26	
I:	6.20+0.80+3.34+0.8+1.43+0.8+1.67+0.22=9.14
J:3.00+6.00=18.00	
K:7.00+1.62=81.34	
L:3.50+2.00=7.00	
2,216.65	



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日: DATA

設計

検図

承認印

工事名称: PR NAME

図面名称: DW NAME

平面図

図面番号: DW NO. 確認

製図

担当

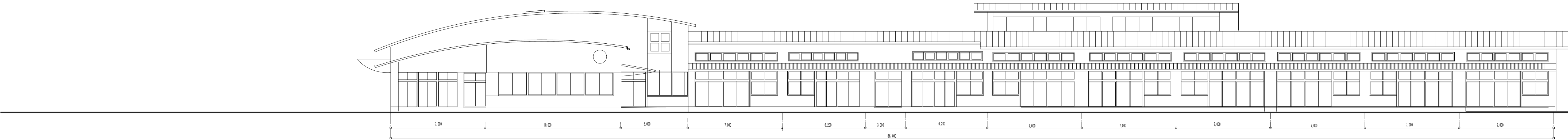
承認年月日

令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

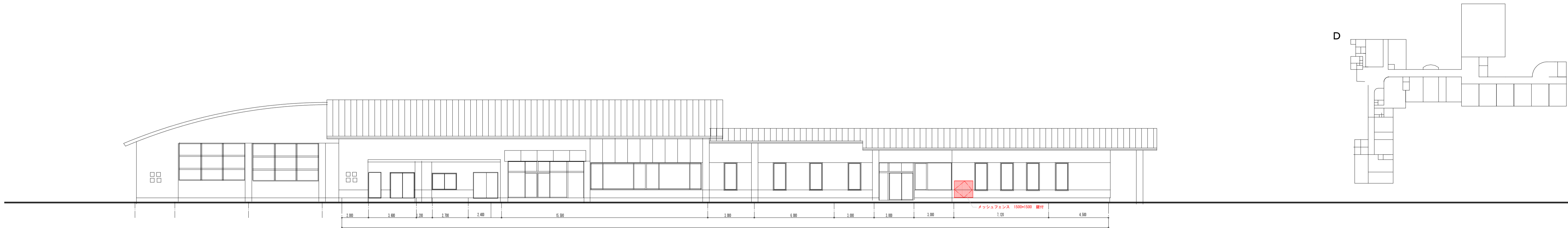
縮尺: SCALE

1:200 (A-1) 1:400 (A-3)

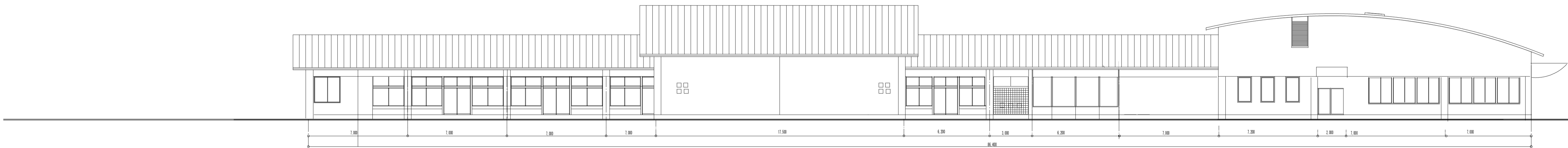
A—6



南立面図 1 / 150

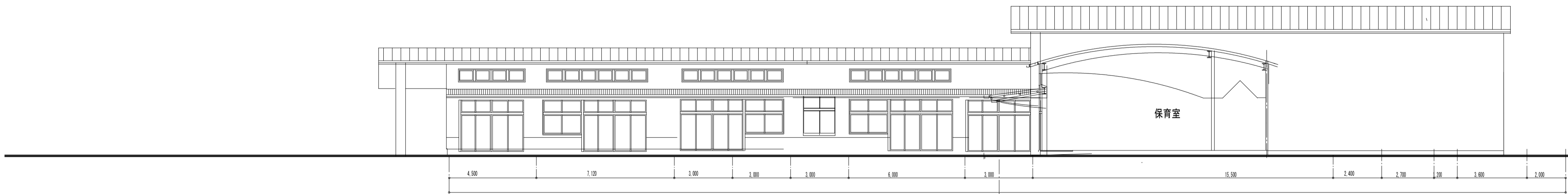


西立面図 1 / 150



北立面図 1 / 150

増築部分 増築部分 改築部分



東立面図 1 / 150

増築部分



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日: DATA

設計

検図

承認印

工事名称: PR NAME

図面名称: DW NAME

図面番号: DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

立面図

縮尺: SCALE

1:150 (A-1) 1:300 (A-3)

A-7

機 械 設 備 工 事

I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 安曇野市穂高 西穂高認定こども園

2. 建 物 概 要

建 物 名 称	工 事 種 別	構 造	工事対象棟数	改修期	消防法施行令別表第一	耐震分類	備 考
西穂高認定こども園	延長保育室	S造	1	1			
	エアコン更新						

3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)

工 事 種 目	建 物 別					屋 外
	新設					
○ 空 気 調 節 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 冷 暖 房 設 備	●一式		○一式	○一式	○一式	○一式
○ 暖 房 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 換 気 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 排 煙 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 自 動 制 御 設 備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 衛 生 器 具 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 水 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 排 水 設 備 (ドレン)	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 湯 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 消 火 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ ガ ス 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給 油 設 備	○一式		○一式	○一式	○一式	○一式
○ 厨 房 機 器 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 寒 暖 実 習 器 具 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 浄 化 槽 設 備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●電気設備 (室内外機連絡配線)	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4. 設 備 概 要 (○印を付けたものを適用する)

方 法 及 び 種 別	設 備 概 要
空 調 方 式	
冷 暖 房 方 式	・同時冷暖房 ●標準シングル ・マルチエアコン
暖 房 方 式	・温風暖房 ・温水暖房 ・ＦＦ暖房 ・電気暖房
換 気 方 式	・局所換気
給 水 方 式	・水道直結式 ・加圧式 ・受水タンク式 (・上水 ・井水)
排 水 方 式	・建物内汚水、雑排水 (・分流 ・合流) ・建物外汚水、雑排水 (・分流 ・合流) 浄化槽 (・合併 ・単独) ・洗先 ・公共下水 ・
消 火 設 備 の 種 別	・屋内消火栓設備 ・消火器 (別途)
ガ ス の 種 別	・都市ガス (発熱量 KJ/ Nm、供給事業者名:) ・液化石油ガス (発熱量 100,000 KJ/ Nm)

5. 指 定 部 分 ・無 ・有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

対 象 部 分:

II. 図 面 目 録

No.	図 面 名 称	No.	図 面 名 称
1	M-1 機械設備特記仕様書		
2	M-2 冷暖房設備凡例・機器表 配置図・平面図・詳細図		

III. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。) 及び「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準図」という。) による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

●安曇野市建築工事の手引き (以下、「手引き」という。) 安曇野市企画財政部監修

2. 特 記 仕 様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章 項 目	特 記 事 項
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料 (以下、「品質性能証明資料」という。) を提出して監督職員の承認を受ける。 (標準仕様書第1編第4第1、4、2) ただし、 (社) 公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製図図、試験成績書等は除く。
③ 使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承認を受ける。
④ 施工条件明示項目	・公共建築工事精算基準の解説 (設備工事編) の「執務室改修」

⑤ 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び樹脂板は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

5) 上記1) 、3) 、4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該 当 する 建 築 材 料
規 制 対 象 外	①J I S及びJ A Sの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJ A S規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤不使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第 三 種	①J I S及びJ A Sの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧J I SのE c規格品 ④旧J A SのF c c規格品

6 ベーストシール剤

飲料水管系に使用されているベーストシール剤は、室内汚染に依る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。

ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロロピリオス、フェノプロパル、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者を設置する。

●配管 (①、2) ●冷凍・空気調和機器 (①、2) ●熱断絶 (①、2) ・建築資金 (1、2) ・設けない ・設ける
この工事に必要な工事用電力、用水、手続きなどの費用は請負者の負担とする。

・別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ●その他の必要の場合本工事で負担する。

・改修機械設備標準仕様書第1編2、2、1によるほか下記による。

● 内部仮設足場等 (・ 種 ・ 種) ● 外部仮設足場等 (・ 種 ・ 種)

資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。

・監督員が指示する構内の場所に数ならし ・構内指差場所にたいてい ●構外搬出適切処理

● 樹木の伐倒 (ただし樹木の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ● 山砂の類

樹切中の山留め ・有 () ・無 ()

工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。

(1) 引渡しを要するもの ・無 ・有 ()

(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。

(3) 特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 ()

(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、)

標準仕様書第1編1、7、4によるほか、パルプ類等には必要に応じて合樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。

機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を記載した取扱説明板 (亚克力樹脂製、文字形込み程度) を設ける。大きさは、約 mとする。

・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温度測定 ・騒音測定

・飲料水の水质の測定 (・水質基準検査10項目 (一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化イオン、有機物等 (T O C) 、p H、臭、色度、濁度) ・トルエン)

飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水质検査機関とする。

(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器、配管、風道等は耐震性を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。

耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。

(1) 設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) に、次に示す地域係数及び設計用標準水平地震度を乗じたものとす。

設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類	
	特定の施設 (・甲種 ・乙種)	一般の施設 (乙種)
上層階、屋上及び塔屋	重要機器	一般機器
	2. 0	1. 5
	(2. 0)	(2. 0)
中 間 階	1. 5	1. 0
	(1. 5)	(1. 5)
	(1. 5)	(1. 0)
地下階、一階	1. 0	0. 6
	(1. 0)	(1. 0)
	(1. 5)	(1. 0)

(注) 1. () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

2. () 内の数値は水槽類に適用する。

3. 上層階の定義は次による。

2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階

重要機器とは下記に示すものをいう。

・給水装置・排水装置・換気機器●空調機器、防災設備、監視制御設備、危険物貯蔵装置

・火を使用する設備・足輪駆動上に設置する機器

(2) 設計用斜面地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機械改修工事標準仕様書第2編5章による。

・性能確認試験 () ●施工後確認試験 (後付ノド) 確認強度 k N

吊金鎖は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする。

給水、給湯・清汰・冷温水・冷却水等は、図示による水抜きが確実なできよう水抜き位置に向かつて下り勾配とする。

コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重1巻1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼管等により防水措置をする。

土中埋設管 (排水含む) は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。

給水管・排水管の埋設深さは 600 mmとする。又、ガス管の埋設深さは 600 mmとする。

2.7 管 の 埋 設 表 示

2.8 溶 接 部 の 非 破 壊 検 査

2.9 塗 装 装 装

3.0 機器の基礎及び振動絶縁効果

3.1 電 線 類

3.2 は っ ぴ

3.3 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

3.4 防 凍 保 温

3.5 試 験

3.6 他工事との取合い

3.7 そ の 他

3.8 空 気 調 和 設 備

3.9 冷 暖 房 設 備

3.10 暖 房 設 備

3.11 防 凍 保 温

3.12 試 験

3.13 他工事との取合い

3.14 そ の 他

3.15 空 気 調 和 設 備

3.16 冷 暖 房 設 備

3.17 暖 房 設 備

3.18 防 凍 保 温

3.19 試 験

3.20 他工事との取合い

3.21 そ の 他

3.22 空 気 調 和 設 備

3.23 冷 暖 房 設 備

3.24 暖 房 設 備

3.25 防 凍 保 温

3.26 試 験

3.27 他工事との取合い

3.28 そ の 他

3.29 空 気 調 和 設 備

3.30 冷 暖 房 設 備

3.31 暖 房 設 備

3.32 防 凍 保 温

3.33 試 験

3.34 他工事との取合い

3.35 そ の 他

3.36 空 気 調 和 設 備

3.37 冷 暖 房 設 備

3.38 暖 房 設 備

3.39 防 凍 保 温

3.40 試 験

3.41 他工事との取合い

3.42 そ の 他

3.43 空 気 調 和 設 備

3.44 冷 暖 房 設 備

3.45 暖 房 設 備

3.46 防 凍 保 温

3.47 試 験

3.48 他工事との取合い

3.49 そ の 他

3.50 空 気 調 和 設 備

3.51 冷 暖 房 設 備

3.52 暖 房 設 備

3.53 防 凍 保 温

3.54 試 験

3.55 他工事との取合い

3.56 そ の 他

3.57 空 気 調 和 設 備

3.58 冷 暖 房 設 備

3.59 暖 房 設 備

3.60 防 凍 保 温

3.61 試 験

3.62 他工事との取合い

3.63 そ の 他

3.64 空 気 調 和 設 備

3.65 冷 暖 房 設 備

3.66 暖 房 設 備

3.67 防 凍 保 温

3.68 試 験

3.69 他工事との取合い

3.70 そ の 他

3.71 空 気 調 和 設 備

3.72 冷 暖 房 設 備

3.73 暖 房 設 備

3.74 防 凍 保 温

3.75 試 験

3.76 他工事との取合い

3.77 そ の 他

3.78 空 気 調 和 設 備

図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製構柱を埋め込む。舗装部分は埋設設備ピントとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。

排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。

換気管 ・ 標準仕様書による ・ 検査の種類 ・ R T ・ P T又はM T

下記の金属電線管は塗装を行う。

・屋外出口 ・ () の屋内露出

下記の保温を行わない垂吊メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。

機 器	基 礎	振 動 絶 縁 効 率
送 心 送 風 機	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ %以上 ・
空 調 用 ポ ン プ 及び	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上 ・
ボイラー給水用ポンプ		
揚 水 用 ポ ン プ 及び	・ 標準基礎 ・ 防振基礎	・ 80%以上 ・
小形給水ポンプユニット		

・別図による。

電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2、4、1、表4、2、12による。

既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

標準仕様書第2編によるほか下記による。

給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ (グラッド部を含む) 、フランチ、可とう軟手及び空調ダクトのフランチは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。

各配管の保温厚は標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。

・換気ダクトの保温厚 (25mm) ・ 範囲は図示による ・

・外気取入れダクトの保温厚 (25mm) ・ 範囲は図示による ・

・排気ダクトの保温厚 (25mm) ・ 範囲は図示による ・

・通りダクトの

空調機機器表 標準シングルエアコン (R32冷媒液使用)

室内外渡り配線
電源線 VVP2.0° -3C
アース線 1V-1.6°
伝送線 CVV1.25° -2C

品番)

R

2KZ

防振架台

室外機
寒冷地仕様
112形

花壇解放

RC基礎

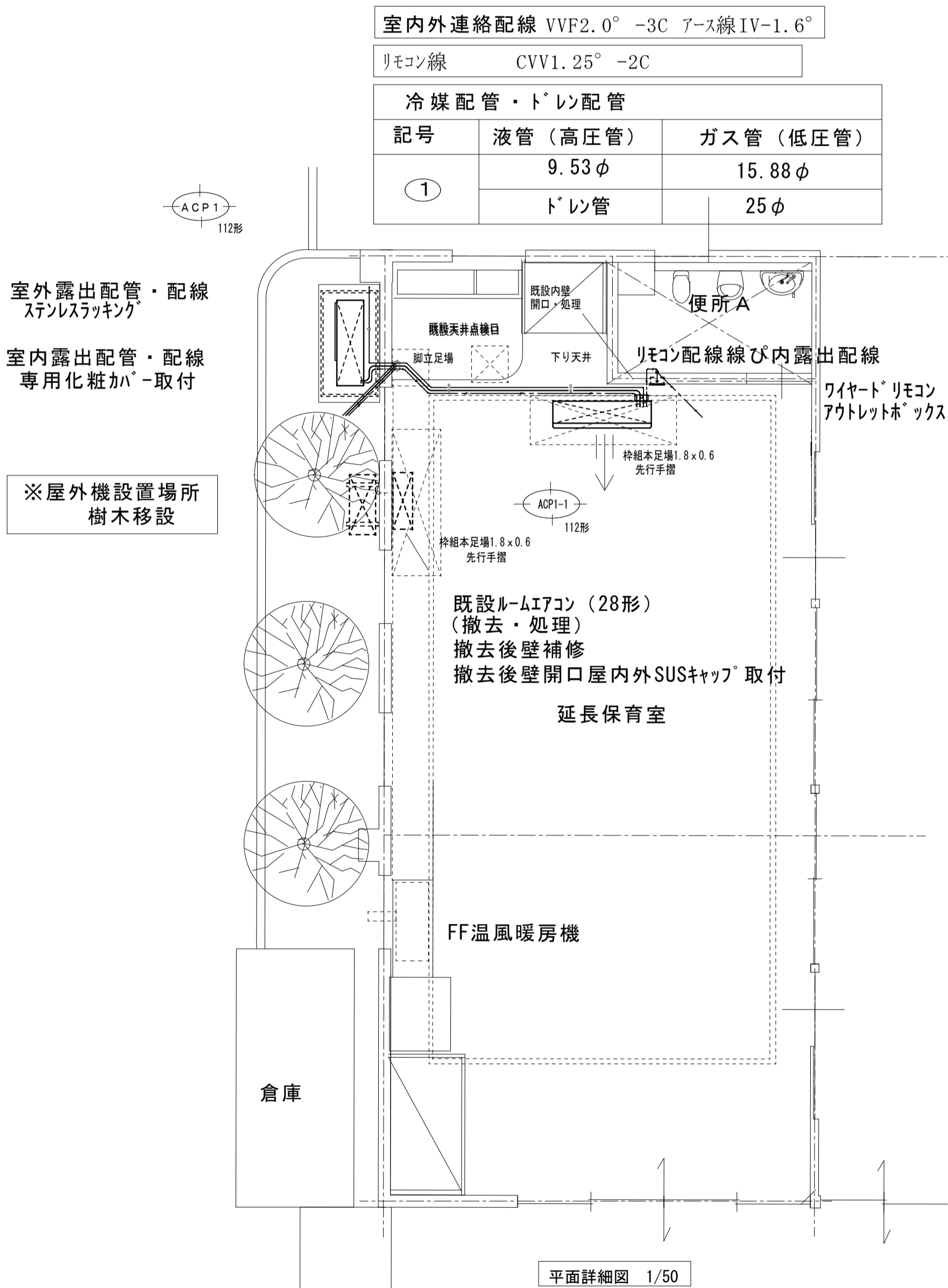
壁掛形
112形

リモコン線 CVV1.25° -2C

ワイヤードリモコン

冷媒配管 9.52φ/15.88φ
ドレン配管 25φ

冷媒配管・渡り配線・リモコン配線



西穂高認定こども園 : 安曇野市穂高柏原5217

地 址 住 址

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
西穂高認定こども園	S造	1階			既 存

(O印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外		
		西穂高認定コードも図		
電灯設備				
動力設備	幹線、分岐	○		
電熱設備	幹線			
雷保護設備				
変電設備	改修			
静止形電源設備	直流電源装置			
発電設備				
構内情報通信網設備	LAN用配管			
構内交換機設備	電話用配設備			
情報表示設備	暗話機設備			
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導表示機設備	トイレ呼出し設備			
テレビ共同受信機設備				
監視カメラ設備				
駐車場管理設備				
防犯・入退室管理設備	予備配管			
自動火災報知設備				
自動警報機設備				
非常警報機設備	非常放送装置			
ガス漏れ警報機設備				
中央監視制御機設備				
構内配電線路		○		
構内通信線路				
昇降機設備				
床暖房設備				
ロビーテレビ設備				

番 号	図面名称	番 号	図面名称
01	図面リストによる	21	
02		22	
03		23	
04		24	
05		25	
06		26	
07		27	
08		28	
09		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

共通仕様

- (1) 図面及び申請図に採書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁建築部の「公共建築工事標準採書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準採書」という。)、公共建築改修工事標準採書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準採書」という。))及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。))による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事(それぞれの工事採書書を採用する。

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項					
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとす。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。					
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業 設備機材等評価番号」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び 性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。					
③ 化学物質を発散する 建築材料等	本工事の建物内留に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する ものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル ボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及びパテ等は、ホルムアルデヒドを 放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて 少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジエチル・フタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難 揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを 放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が 極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他 の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が9種対象外のもの、ホルムアルデ ヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもの、原則として規制対象外の ものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。					
	<table><tr><th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr><tr><td rowspan="2">規制対象外</td><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td></tr><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③BJISのE〇〇規格品 ④BJISのF〇〇〇規格品</td></tr></table>	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③BJISのE〇〇規格品 ④BJISのF〇〇〇規格品
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料					
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用					
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③BJISのE〇〇規格品 ④BJISのF〇〇〇規格品					
④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、 電気工作物の保安の業務を行うものとする。					
⑤ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。					
⑥ 実施工程表及び 施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は 監督職員の承諾を受けること。					
⑦ 使用材料発注記録書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。					
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○ 無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの ○ 無 ・有 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 () ○ 設けない ・設ける(規模:) ・備品 ()					
⑨ 監督員事務所	すべて請負者の負担とする。					
⑩ 工事用仮設物	構内で作ることが ○ できる ・できない					
⑪ 足場・さん間類	○ 別契約の関係請負者が設置したもの、は無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等(・架台足場・移動式足場・移動式室内足場・ () ・外部仮設足場等(・A種・B種・C種・D種・ () ・防護シート()					
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関等の諸手続等に 要する費用は請負者の負担とする。					
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。					
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。					
⑮ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として耐腐及び耐塩酸抵抗認定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。					
⑯ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014版(国土交通省国土技術 政策総合研究所・独立行政法人建築研究所発行)」による。なお、施工に際し、耐震 強度計算書を監督員へ提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震震度乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震震度は次のよう。					

項目	特記事項																																																										
	設計用標準水平地震動																																																										
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">○一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び付属屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下-1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	機器種別	特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び付属屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下-1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、 屋上及び付属屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下-1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次のとおり。 ・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ◎上層階の定義は次のとおり。 2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、 10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。																																																										
	(2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同様に働くものとする。																																																										
17 あと施工アンカー	(1) 重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の2章第8.2.4及び11節による。 (2) 上記以外の機器類は建築工事改修仕様書⑤による。 （引続き試験を ・実施する ・実施しない）																																																										
18 防火区画等の 貫 通 処 理	電線管等、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																										
19 電線・ケーブル	(1) BM-EFF は放射線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タカイム EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2) BM-UP は JIS X 5150「構内静電導線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるBMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																										
20 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の高圧用配線管 4 個以下の場合には(25)を 1 本 5 個以上の場合は(25)を 2 本、天井まで立上らせる。																																																										
21 呼び線	長さ 1m以上の入線しない電線管口は、1.2mm以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。																																																										
22 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋 外 ・ 屋 内 ()																																																										
23 埋め戻し土	・ 埋 戻 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																										
24 建設発生土の処理	・ 埋外掘出処理 ・ 構内の指定場所へ敷き均し																																																										
25 ケーブル埋設票	(1) 地中線管口は、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製 (2) 低圧地中電線にあっても地中線電線開閉シートを敷設する。 (3) 配線埋設量が750mmを超える場合は、地中線電線開閉シートは2条以上敷設する。																																																										
26 ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上りには、メラミン覆付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじには化粧ビスとする。																																																										
27 フラッシュプレート	図面と情報あるもの及び特殊なものを除き ・ 金属製 ・ 樹脂製																																																										
28 プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した銘牌をつける。																																																										
29 配線器具	タンブラースイッチは適用形とする。 壁付けコンセント（P15A）は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また（P25A）以外はすべてキャップ付とする。																																																										
30 フロアコンセント	・ 直付（ビス止め）型上下式 ・ 銅合金製 ・ アルミ製 とする ・ 直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする																																																										
31 機器への接続	本工事の動力・制御盤より別途電機設備等への配線の接続は本工事とする。 （非常用照度の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。）																																																										
32 照度測定	(2) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黒板面： 箇所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9㎡分、黒板垂直面9㎡分で測定する																																																										
33 盤類	(1) 分電盤等の図面内にある、単線縦線図・単線縦断面図表、接地抵抗測定表を収める。 (2) 端子盤口は、線番表・線表を備え付ける。																																																										
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調査項目 <資材> ・ 照明誘引システム ・ 変圧器 ・ () <建設機器> ・ 排ガス対策型空気圧縮機 ・ 低騒音型空気圧縮機																																																										
35 他工事又は他工種との取り扱い	工事区分表（平成 年）による。ただしこれよりより難い場合は監督職員と協議する。																																																										
36 その他及び電子納品	保険業者の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県ホームページ「電子入札システム」に掲載される。当該入札公告の添付図書）																																																										

(別表) しゅん工事提出物 (下記項目より監督員の指示に従い提出する。)

個別提出物	一括提出物
① 完成図 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因（A1版 ケース入り） ○ 疑題（A3 2つ折り製本 1部） ・ マイクロフィルム （アーキテュアカード貼付 台紙は黄色） ○ OVDデータ 	⑥ 機器完成図 ⑦ 工事写真 ⑧ 完成写真 ⑨ 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書） ⑩ 機材の造形図表録書 ⑪ 施工の造形図表録書 ⑫ 社内造形図表録書 ⑬ 発生処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の の写し・マニフェストの写し、フロー図）
2 設計図 <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクロフィルム （アーキテュアカード貼付 台紙は青色） 	⑭ 納入品一覧表 ⑮ 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し） ⑯ 保全に関する資料（取扱い説明書も含む）
③ 引換品	
④ 納入品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予備品 ・ ハンドホルブブック、ジャッキ ○ 盤類の鍵 	

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
 ブロックハンドホール (寸法は図法を示す。底部とはハンドホール内側底部を)
 ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
 ・ブロックの仕入れは国土交通省仕様と準ずるものとする。

ハンドホール No. -	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1,000×1,000× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	900× 900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既設足場付)
ハンドホール No. -	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既設足場付)
ハンドホール No. -	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※縦横歩行帯等車道の通行の妨げにならない場所、 取付けケーブルが引かない箇所にて設置

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

A種接地地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 垢剥離処理中心深さ	補助接地地 2m	連続式10φ×1,500。 増設導線(黄銅鍍又はステンレス製)
B種接地地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 垢剥離処理中心深さ	補助接地地 2m	連続式10φ×1,500。 増設導線(黄銅鍍又はステンレス製)
C種接地地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 垢剥離処理中心深さ	補助接地地 1.5m	連続式10φ×1,500。 増設導線(黄銅鍍又はステンレス製)
D種接地地	接地棒(10φ×1,500) 増設棒	リード端子付 打ち込み式 増設棒	連続式10φ×1,500。 増設導線(黄銅鍍又はステンレス製)


図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)	
共 通	取引用計器 引込配管器	地上～上端	2,000	時 計	壁掛形秒時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	警報器	地上～上端	1,800		子時計	〃	〃	(天井高)×0.9
		床上～中心	1,500			壁掛形スピーカ－ アッテネーター	〃	〃
電	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	拡 声	表示盤		床上～中心	(天井高)×0.9 1,300
	タンブラスイッチ 〃 (身障者用)	〃	1,300		表 示	壁付発信器	〃	1,300
	〃 (一般)	〃	1,100			ベル	〃	(天井高)×0.9
	〃 (和室)	〃	300	プザ－		〃	(天井高)×0.9	
	〃 (廊所等)	〃	150	押ボタン	〃	1,300		
	〃 (台上)	台上～中心	150	示	〃 (身障者用押ボタン)	〃	900	
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100		身障者用表示灯	〃	2,000	
	〃 (廊端)	床上～中心	2,100		夜間用表示灯	〃	1,800	
	灯	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150	イン ター ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
		避難口誘導灯	床上～下端	1,500(上端)		壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	〃 (身障者用)	〃
廊下通気格好導灯		床上～上端	1,000(下端)	〃 (一般)			〃	300
動 力	壁掛形消防警器	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	ホ ン	〃 (和室)	〃	150	
	手元照明器	〃	1,500		テ レ ビ 共 同 受 信	機器収納箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	操作スイッチ 押ボタン	〃	1,300			アウトレット	〃 (一般)	〃
電	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	300	火 災 報 知		〃 (和室)	〃	150
	中間端子盤	床上～中心	1,500		受信機 計測受信機 機器収納箱 発信器 ベル 消火栓表示灯	床上～操作部	800～1,500 800～1,500 800～1,500 800～1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8	
	〇(5・電気室)	〃	(天井高)×0.9					
話	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9	壁付アウトレット ボックス(一般) 〃 (和室)			〃	300 150
	壁付アウトレット	〃			300 150			
	〃 (和室)	〃						

〈施工制約条件〉

1. 電力会社への申請手続きを、工事契約後、迅速に行うこと。
2. 停電工事が発生するため、日時を監督員及び国と協議すること。
3. 停電工事中における防災機器・冷蔵車等バックアップが必要な場合は、監督員と協議の上仮設電源は本工事で準備する。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

	安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日 : DATA	設計	検図	承認印	工事名称: PR NAME	図面名称: DW NAME	電気特記仕様書	図面番号: DW NO. 確認
			製図	担当	承認年月日	令和 4 年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事	縮尺: SCALE		

(35m)

回路番号	P-2 ケーブル表	配管仕様		負荷名称
		屋外 Q管	接続部 FVP	
A	EM-CET14 E3.5 (10m)	-	-	AC-5 室外機
B	EM-CET14 E3.5 (12m)	-	-	AC-6 室外機
C	EM-CET14 E3.5 (19m)	-	-	AC-7 室外機

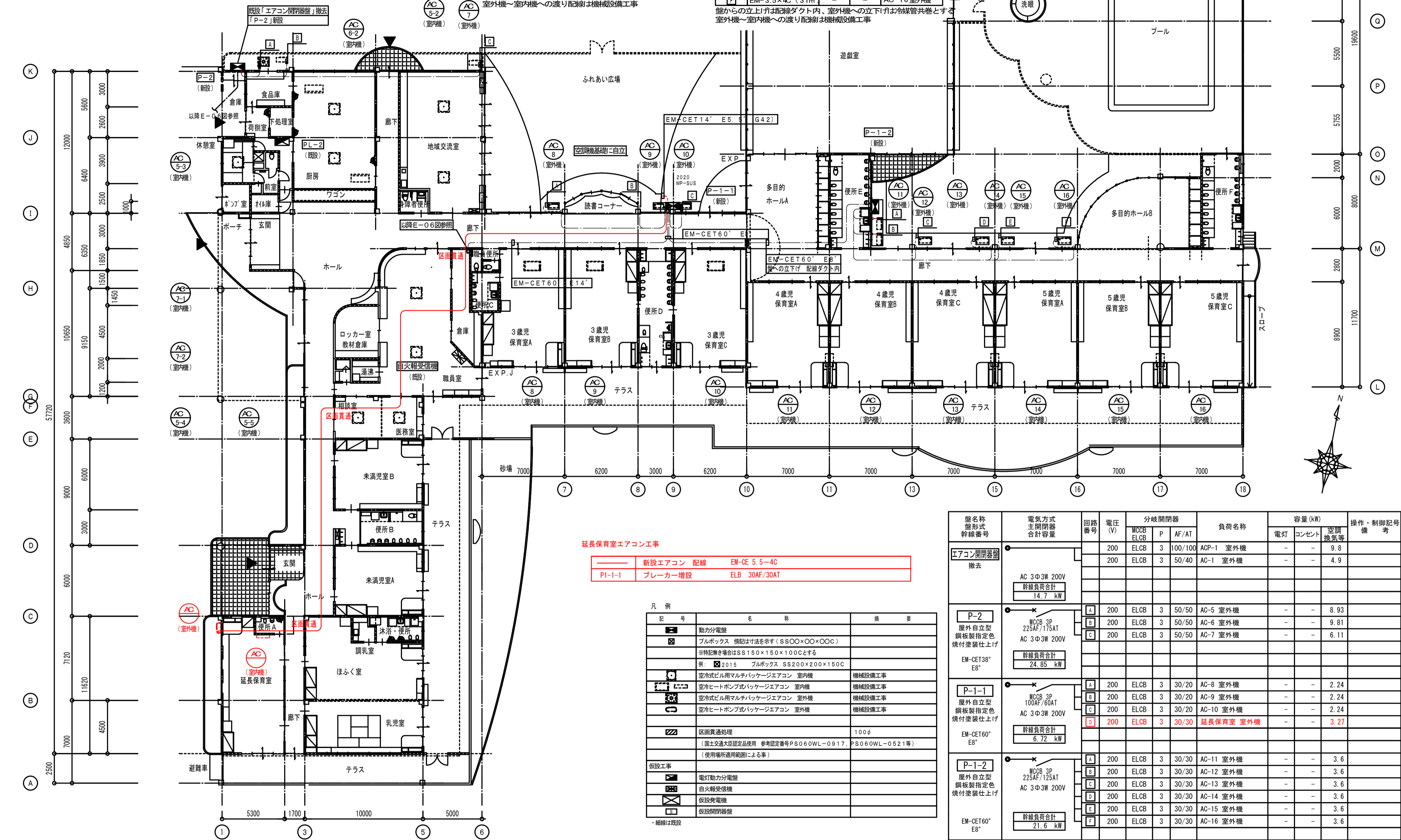
室外機～室内機への渡り配線は機械設備工事
室外機への立下りは冷媒管共巻とする

回路番号	P-1-1 ケーブル表	配管仕様		負荷名称
		屋外 Q管	接続部 FVP	
A	EM-3.5×4C (19m)	-	-	AC-8 室外機
B	EM-3.5×4C (10m)	-	-	AC-9 室外機
C	EM-3.5×4C (10m)	-	-	AC-10 室外機
D	EM-CE 5.5-4C (79m)	-	-	延長保育室 室外機

室外機への立下りは冷媒管共巻とする
室外機～室内機への渡り配線は機械設備工事

回路番号	P-1-2 ケーブル表	配管仕様		負荷名称
		屋外 Q管	接続部 FVP	
A	EM-3.5×4C (10m)	-	-	AC-11 室外機
B	EM-3.5×4C (12m)	-	-	AC-12 室外機
C	EM-3.5×4C (19m)	-	-	AC-13 室外機
D	EM-3.5×4C (22m)	-	-	AC-14 室外機
E	EM-3.5×4C (25m)	-	-	AC-15 室外機
F	EM-3.5×4C (31m)	-	-	AC-16 室外機

室外機への立下りは冷媒管共巻とする
室外機～室内機への渡り配線は機械設備工事



延長保育室エアコン工事

新規エアコン 配線	EM-CE 5.5-4C
P1-1-1 プレーカー増設	ELB 30AF/30AT

凡 例

記 号	名 称	備 考
☑	動力分電盤	
☑	フルボックス 機記付法を添す (SS00×00×00C)	
☑	※特記無き場合はSS150×150×100Cとする	
☑	※ 2015 フルボックス SS200×200×150C	
☑	空冷式ビル用マルチパッケージエアコン 室内機	機械設備工事
☑	空冷式ビル用マルチパッケージエアコン 室内機	機械設備工事
☑	空冷式ビル用マルチパッケージエアコン 室外機	機械設備工事
☑	空冷式ビル用マルチパッケージエアコン 室外機	機械設備工事
☑	区画貫通給排水	100φ
☑	(国土交通大臣認定品使用 参考認定番号PS060WL-0917 PS060WL-0521等)	
☑	(使用場所適用範囲による事)	
☑	仮設工事	
☑	電灯動力分電盤	
☑	防火報告機	
☑	仮設電機	
☑	仮設開閉器	
☑	給排水設備	

盤名称 盤形式 幹線番号	電気方式 主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P AF/AT	負荷名称	容量 (kW)			操作・制御記号 備考
							電灯	コンセント	空調 換気等	
エアコン開閉器 撤去	AC 3Φ3W 200V 幹線負荷合計 14.7 kW	200	ELCB	3	100/100	ACP-1 室外機	-	-	9.8	
						AC-1 室外機	-	-	4.9	
P-2 屋外自立型 銅板製指定色 焼付塗装仕上げ EM-CET38" E8"	MCCB 3P 225AF/150AT AC 3Φ3W 200V 幹線負荷合計 24.85 kW	200	ELCB	3	50/50	AC-5 室外機	-	-	8.93	
						AC-6 室外機	-	-	9.81	
						AC-7 室外機	-	-	6.11	
							-	-		
P-1-1 屋外自立型 銅板製指定色 焼付塗装仕上げ EM-CET60" E8"	MCCB 3P 100AF/60AT AC 3Φ3W 200V 幹線負荷合計 6.72 kW	200	ELCB	3	30/20	AC-8 室外機	-	-	2.24	
						AC-9 室外機	-	-	2.24	
						AC-10 室外機	-	-	2.24	
						延長保育室 室外機	-	-	3.27	
P-1-2 屋外自立型 銅板製指定色 焼付塗装仕上げ EM-CET60" E8"	MCCB 3P 225AF/150AT AC 3Φ3W 200V 幹線負荷合計 21.6 kW	200	ELCB	3	30/30	AC-11 室外機	-	-	3.6	
						AC-12 室外機	-	-	3.6	
						AC-13 室外機	-	-	3.6	
						AC-14 室外機	-	-	3.6	
						AC-15 室外機	-	-	3.6	
						AC-16 室外機	-	-	3.6	



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日: DATA

設計

検閲

承認印

工事名称: PR NAME

図面名称: DW NAME

平面図

図面番号: DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和4年度 西穂高認定こども園長時間保育室エアコン更新工事

縮尺: SCALE

1:200 (A-1) 1:400 (A-3)

E-2